

令和2年度 病害虫防除情報

令和2年6月29日

発表：福島県病害虫防除所

近年、水稻の紋枯病が増加しています。前年発生が見られたほ場では適切な防除に努めましょう。

- 1 対象作物：水稻
- 2 病害虫：紋枯病
- 3 対象地域：県内全域

発生状況等

- (1) 前年の9月上旬に実施した巡回調査（県内39地点、311ほ場）では、調査ほ場の42%で紋枯病の病斑が確認されました（図1、2）。前年発生が見られたほ場では、本年の発生に注意してください。
- (2) 東北地方の1か月予報(6月18日発表)では、降水量は平年並で気温は平年より高いと予想されています。紋枯病は湿度が高いと発生が拡大し、気温が高いと上位葉鞘への進展が早まるので、注意が必要です。

防除対策

- (1) 紋枯病は、病斑が上位葉まで伸展すると穂枯れや倒伏の原因となります。ほ場の発病程度を把握し、下位葉鞘のうちに防除を実施してください。特に前年発生程度の高かったほ場では、発生が多くなる恐れがあります。
- (2) 分けつが多いと株間湿度が高くなり、発生が多くなります。また、窒素多用によっても発病が多くなるので、多肥は避けてください。
- (3) 薬剤による防除は、粒剤（水面施用剤）であれば出穂30～10日前（表1）、水和剤や粉剤（茎葉散布剤）であれば穂ばらみ期の散布が効果的です（表2）。



写真1 紋枯病に罹病した稲株
(農業総合センター撮影)

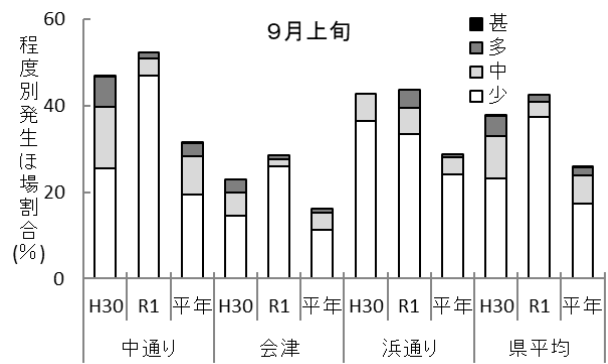
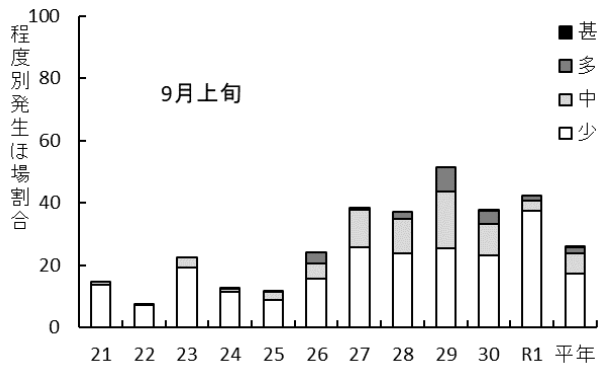


図1 紋枯病発生ほ場割合の推移 (9月上旬)

図2 紋枯病の地域別発生ほ場割合 (9月上旬)

表1 紋枯病の防除薬剤 (水面施用剤)

薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用適期 (使用時期)	10a 当たり使用量
オリブライト1キロ粒剤	メトミノストロビン	C3	出穂10日前まで (但し、収穫45日前まで)	1kg/10a
モンガリット粒剤	シメコナゾール	G1	出穂28~14日前 (収穫45日前まで)	3~4kg/10a
モンガリット1キロ粒剤	シメコナゾール	G1		1~1.3kg/10a
リンバー粒剤	フラメトピル	C2	出穂30~10日前 (収穫30日前まで)	3~4kg/10a

表2 紋枯病の防除薬剤 (茎葉散布剤)

薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用時期	使用濃度、10a 当たり使用量 (散布適量)
アミスターエイト	アゾキシストロビン	C3	収穫14日前まで	1000~1500倍 (140~150L/10a)
バリダシン液剤5	バリダマイシン	U		1000倍 (140~150L/10a)
モンカットファイン粉剤20DL	フルトラニル	C2		3~4kg/10a

● 情報内容への質問や要望は福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課 (病害虫防除所) まで御連絡ください (TEL 024-958-1709、FAX 024-958-1727)。

● 本情報は、福島県病害虫防除所のホームページ (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>) でもご覧になれます。